

「なるほどせつめいカード」を書いてせつめいしよう。

めあて

作るときに気をつけることや 使い方を教える
書き方のくふうを見つけながら 読み、よさを考えよう。

「しかけカードの作り方」(本文か、その一部を提示するか、板書します。)

《作り方》
・・・じょうぎで、はかりましょう。

つぎに、・・・同じようにおります。こうすると、おったところに線がついて、後でかんたんにおし上げられるようになります。

こんどは、・・・かざりを作ります。かざりが大きすぎると、カードをとじたときに はみ出してしまいます。く略く(つかい方)
・・・人におくります。・・・カードにしてもいいですね。

① 「作るときに気をつけることの書き方」

・くします。こうすると・・・。
・おります。くはります。くおさえます。
・くしましょう。

② 「使い方を教える書き方」

・くおくります。いいですね。

【今日の学しゅうのまとめ】

・せつめいするときには、作るときに気をつけることを書いたり、使い方を教えるように書いたりすると、わかりやすい。

【5 / 9時間目 指導路案】 使用するワークシート(「なるほどせつめいカード」書いてせつめいしよう) 本時のねらい

作るときに気をつけることを書いたり、使い方を教えるように書いたりすると分かりやすい説明になることに気付かせる。

1 本時のめあてを確認する。

○ 板書と学級に掲示している学習計画で本時の学習を確認させる。

2 作るときに気をつけることを書いてある部分や使い方を教えている部分を見付ける。

○ ① 「作るときに気をつけることの書き方」の工夫点

○ 《作り方》の一つの文章を取り上げて、読み手に気をつけることとして実際に作業することが書いてある部分を見付けさせる。

○ 教科書の見付けた部分に線を引かせる。

○ 作業の指示をしている文の最後の部分の書き方に着目させるようにします。

○ 《使い方を教える書き方》の工夫点

○ 「使い方」の項目で、人に教えるように書いてある部分を見付けさせる。

○ 教科書の見付けた部分に線を引かせる。

※ 出来上がったものを実際に使うときに、人に教えるように書いてある部分に着目させるようにします。

3 作るときに気をつけることを書いてある部分や使い方を教えている部分の特徴を確認する。

○ 線を引いた部分を発表させ、自分の見付けたところと合っているか比べさせる。

○ 友達の発表に付け加えなどをさせながら、指導者が拡大した本文に線を引いていきま

す。

○ 出し合った部分をワークシートに記入させ、どれも実際に作るときに分かりやすくするためのものであることを確認させる。

※ 上の板書計画のような書き方があることを確認しておきましょう。

4 「しかけカードの作り方」での書き方が「おもちゃの作り方」にどのように生かされているかを確認する。

○ 「おもちゃの作り方」の本文中から、作るときに気をつけることが書いてある部分や遊

び方が書いてある部分を見付けさせ、教科書に線を引かせる。

※ 共通した書き方があることに気付かせ、その効果を感じ取らせるようにしましょう。

評価 ・作るときに気をつけることを書いたり、使い方を教えるように書いたりすることのよさに気付きながら読んでみる。(読み)

・作るときに気をつけることや使い方を教える書き方を理解している。(言い(ウ))

5 本時の学習を振り返り、次時の学習について見通しをもつ。

○ 作るときに気をつけることや使い方を教える書き方をすると、分かりやすい説明になることを確認させる。

○ 次時は、実際に「なるほどせつめいカード」を書き始めることを伝える。